

3. 都市施設整備の方針

(1) 公共交通

(1)-1 基本的な考え方

今後さらに進行する高齢化により、自動車を運転できない高齢者が増加することが想定されます。また、過度に自動車に依存した交通体系では、交通事故の増加や二酸化炭素の排出など、都市環境の悪化にもつながります。公共交通は、アンケート結果においても市民の関心が高いこともあり、便利で利用しやすい公共交通の維持・充実は本市にとって特に重要です。

将来、白山市がコンパクトな都市を形成していくためにも、公共交通による都市間や地域間を連携する移動手段を確保し、自動車に依存しすぎない、歩いて暮らせる都市づくりをめざします。

公共交通の継続的な維持・存続のために、鉄道・バスの利用しやすい環境の整備と積極的なPR活動を展開します。

鉄道とバスのそれぞれの特性と利用実態に応じた役割分担の明確化と相互連携により、効率的かつ利便性の高い公共交通網の形成を図り、あらゆる利用者が快適に利用できるように、公共交通に関する施設や車両などへのユニバーサルデザインの導入を図るとともに、現行のサービス水準の維持とさらなる改善を図ります。

(1)-2 鉄道

① J R 北陸本線

松任地域および美川地域と金沢市および首都圏や近畿圏の移動を支える J R 北陸本線は、鉄道事業者と連携し、運行サービスの維持とさらなる利便性の向上により、利用者の増加を図ります。

北陸新幹線の敦賀延伸の整備後においても、在来線の運行本数の確保と新幹線の乗り継ぎを考慮したダイヤ編成について、関係機関に働きかけます。

J R 松任駅の南北駅前広場は、市の玄関口としてのにぎわい創出や、バス交通との連携向上を図ります。

在来線新駅（仮称：西松任駅）は、利用者の将来需要や周辺土地利用の効果などを勘案し、施設の規模や機能などについて詳細に検討し、整備に向け関係機関と調整します。

J R 加賀笠間駅については、パーク・アンド・ライド駐車場などの交通結節機能の強化を図るとともに、東西自由通路の整備を検討します。



J R 松任駅付近を走行する北陸新幹線

②北陸鉄道石川線

鶴来地域と金沢市を連携している、地域の生活に密着した北陸鉄道石川線は、今後も地域住民の重要な日常的な移動手段として、現状の運行体系の維持を図ります。

安全に利用者運び、かつ沿線住民の安全性を確保するために、国・県・沿線市からの補助による老朽施設の更新・改修を図ります。

鉄道事業者と沿線市の協力により、利用促進に関する検討を進めるとともに、駅周辺における路線バスやコミュニティバスとの乗り継ぎの利便性向上およびパーク・アンド・ライド駐車場の整備を検討します。

松任・美川地域との移動機能を充実させるため、JR北陸本線との接続の改善について、運行事業者に働きかけます。



北陸鉄道石川線

(1)-3 バス交通

①路線バス

本市と周辺市町、郊外と中心市街地を結ぶ、バス交通としての幹線的役割を担う公共交通として、運行会社と連携し、今後も路線が維持されるよう努めます。

②コミュニティバス（めぐーる）

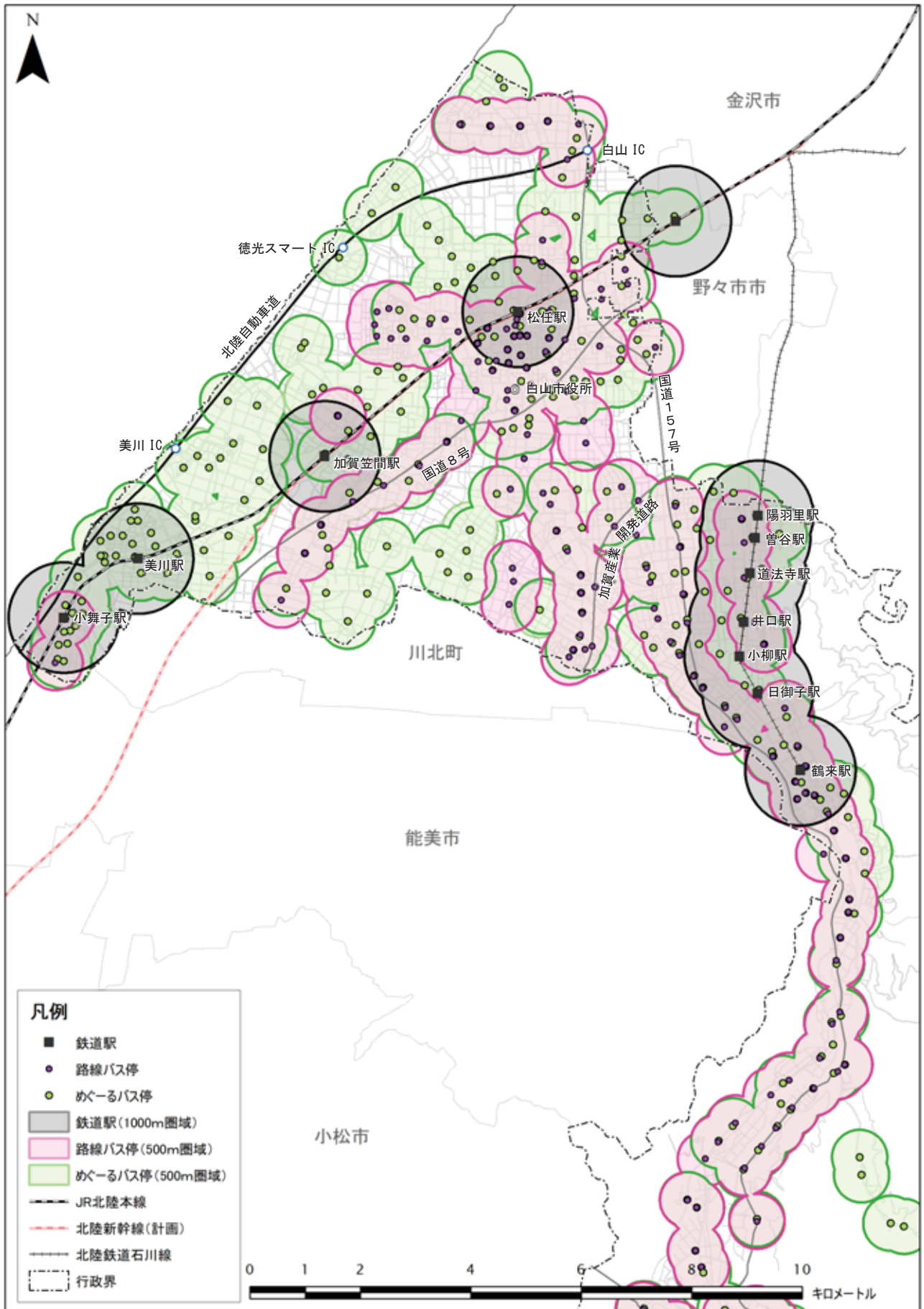
鉄道および路線バスの運行を補完するため、特に路線バスとの機能分担を図りながら、現有車両の中で運行本数を確保し、地域のニーズに応じたルート設定やダイヤ編成の継続的な検討・改正を行います。特に白山ろくなどの人口の少ない地域への運行は、一部スクールバスの機能も担う、日常的な利用のための重要な公共交通として、フリー乗降やデマンド形式の運行をはじめとした新たな運行形態についても検討し、利用しやすく、効率的なサービスを提供します。



コミュニティバス（めぐーる）

コミュニティバスの利用向上に向けた行政によるPRやサービスを積極的に展開します。

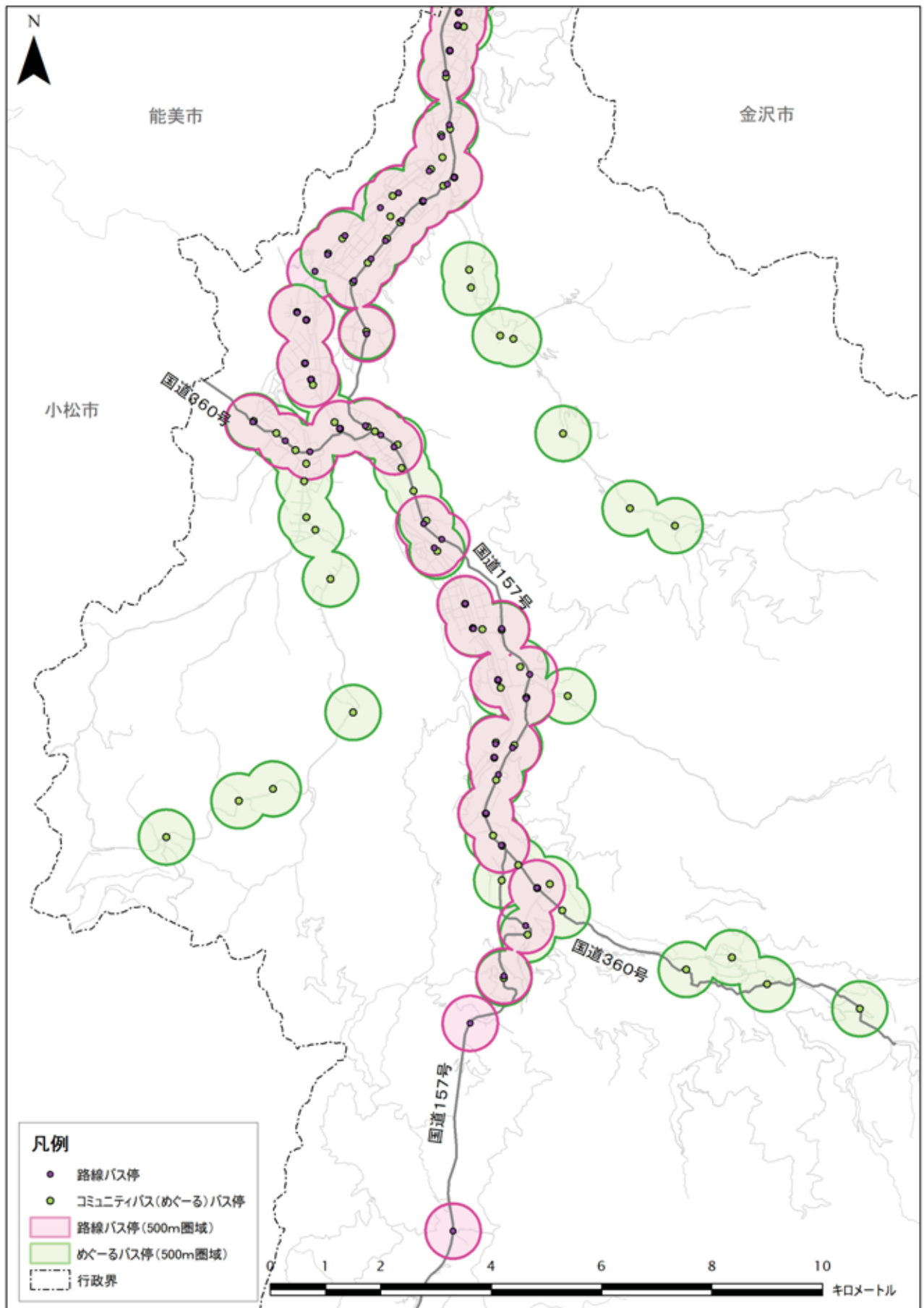
【公共交通（鉄道駅・バス停）の分布状況（平野部）】



※バス停位置は平成30年度時点

- 全体構想
- 松任中央
- 松任西南部
- 松任北西部
- 松任北部
- 松任南部
- 美川
- 鶴来南部
- 鶴来北部
- 白山ろく

【公共交通（鉄道駅・バス停）の分布状況（白山ろく）】



※バス停位置は平成30年度時点

(2) 道路

(2)-1 基本的な考え方

道路は、自動車や人の円滑な移動を確保する、交通ネットワークの最も重要な要素の一つであるとともに、市街地の骨格を形成し、災害時の避難道路や緊急輸送道路として利用され、火災時の延焼防止などの役割も果たしています。特に、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の都市の形成のためには、都市間や市街地間を円滑に移動できる道路の充実が必要です。

自動車・自転車・歩行者それぞれの立場から、必要な機能を充実させるとともに、橋梁きょうりょうなどの道路構造物の維持管理に努め、雪害対策や災害に強い道路整備を推進します。

冬期の雪対策として、降雪量や周辺状況などを勘案し、地下水の保全に配慮しながら、消雪・融雪装置の設置を検討します。また、除雪体制についても、除雪作業を担う業者の拡大強化や初動体制の見直し、除雪路線の再検討など、大雪時にも道路機能を確保できる体制の充実を図ります。

(2)-2 幹線道路

広域的な道路ネットワークを形成している幹線道路は、道路の機能や構造、接続する地域などに応じて「広域幹線道路（広域連携軸）」・「主要幹線道路（地域間交流軸）」・「市街地幹線道路」・「その他の幹線道路」の4つに分類し、それぞれの区分に応じた整備・管理を行うとともに、道路構造物の耐震補強や除雪体制の充実など、災害に強い道路ネットワークの形成を推進します。

① 広域幹線道路（広域連携軸）

白山市と県外を結ぶ幹線道路など、広域連携軸を形成する広域幹線道路は、北陸自動車道などを主要な交通結節点でネットワーク形成することにより、既存道路のストック効果を相乗的に高め、新たな広域幹線道路網である小松白川連絡道路の早期着手、国道8号の渋滞および事故対策などの整備、国道157号の強靱化きょうじんを、関係機関へ働きかけます。

対象とする道路

北陸自動車道、国道8号、国道157号、国道360号（小松白川連絡道路）、
白山白川郷ホワイトロード

② 主要幹線道路（地域間交流軸）

白山市と近隣市町や市内の各地域間を結ぶネットワークである地域間交流軸を形成する主要幹線道路は、既存の幹線道路の機能維持とともに、新たな道路ネットワークの構築を行い、金沢外環状道路（海側幹線）の本線部分の早期着工や、（主）金沢美川小松線の4車線化などの都市計画道路の整備を促進します。

対象とする道路

金沢外環状道路（海側幹線・山側幹線）、加賀海浜産業道路、加賀産業開発道路、
（主）金沢美川小松線（（都）横江松本線）、（主）金沢鶴来線、
（主）鶴来美川インター線、（主）小松鳥越鶴来線、（都）末松徳光線 など

③市街地幹線道路

市街地の外郭などを形成する市街地幹線道路は、各市街地への流入交通を分散させる環状機能やバイパス機能を持つ道路としての機能維持に努めるとともに、都市計画道路の未整備区間などの早期整備を推進します。

対象とする道路

(都) 宮永北安田線、(都) 福正寺竹松線、(都) 五歩市成線、(都) 平加長屋線、
(都) 水島美川大橋線、(都) 金沢小松線、(都) 山ノ手通り線 など

④その他の幹線道路

市街地と郊外の住宅団地や市街地内の主要施設を結ぶ幹線道路や、日常的に利用する道路としてのネットワークを形成する幹線道路は、既存の道路においては、現状の機能維持に努めるとともに、利用状況を鑑みた拡幅や線形改良、歩道整備などを推進します。

対象とする道路

【市街地と郊外の住宅団地などを結ぶ道路】

(主) 松任宇ノ気線、(一) 安吉松任線、(一) 松本木津線、(一) 野々市鶴来線、
(一) 松任鶴来線 など

【市街地内における道路】

(都) 旭工業団地線、(都) 相木成線、(都) 相木線、(都) 千代野環状線、
(都) 千代尼線、(都) 鶴来日吉水戸町線 など

(2)-3 生活道路

沿道に住民が多く居住する道路や通学路として設定されている道路や、商店街を形成する道路、生活に密接に関連し、児童や生徒、高齢者などの歩行者が多い道路においては、歩行者の安全・安心を考慮し、グリーンベルトの設置やゾーン 30 の指定などの安全対策を図ることにより、歩行者の安全な移動空間の確保を図ります。

自転車の通行が多い道路では、自動車と自転車および歩行者空間を分離することにより、自転車・歩行者の安全確保を図ります。

既存道路の歩道においては、沿道状況などに応じて、車椅子やベビーカー、電動カートによる移動を考慮した幅員の確保、フラット化による段差解消や、視覚障害者に対する点字ブロックの設置・ネットワーク化などによる、歩道機能の充実を図ります。

積雪時における市民生活の維持のため、除雪に関する協定の締結や除雪業者の選定など、行政と住民相互の協力が得られる除雪体制づくりに努めます。

(2)-4 都市計画道路

市内に存在する都市計画道路は、事業中のものを最優先に整備するものとし、前述した幹線道路を構成する道路など、ネットワークとして重要なものから順次整備を進めます。

長期未着手の都市計画道路については、将来需要や隣接する町内会との調整の上、計画の変更・廃止も視野に入れた再検討を行います。

(2)-5 自転車道

白山市の豊かな自然を満喫できる山・川・海をつなぎ、本格的なサイクリングを楽しめる自転車ネットワークとして、道の駅「めぐみ白山」へのアクセス路線の追加を促進し、現在使用している山島用水親水ロードや加賀海浜自転車道路（(一) 金沢小松自転車道線）、手取キャニオンロード（(一) 手取川自転車道線）などの機能維持に努めます。

これらの自転車道は、市内外へ積極的にPRし、自転車利用者の増加を図ります。



手取キャニオンロード

(2)-6 その他の道路

農道や林道は、農林業施設の配置や経営などの状況に応じて、自然環境に配慮しつつ、国や県との協力のもと、農林業の振興に寄与する優先順位の高いものから整備や改良工事を推進します。

(2)-7 駐車場など

松任駅南複合型立体駐車場（マツトーレ）など、中心市街地における公営の駐車場施設は、郊外からの来訪者の受け皿として、施設の維持に努めます。また、駅周辺などの主要な交通結節点においては、パーク・アンド・ライド駐車場の整備を図ることにより、公共交通利用者の利便性向上と自動車からの転換を促進します。

自転車利用者の利便性向上のために、既存駐車場の維持に努めるとともに、自転車利用者の多い駅周辺などにおいて、新たな整備を検討します。

市外からの来訪者などが目的地へスムーズに移動できるように、幹線道路の適切な箇所において、案内サインの充実を図ります。

交通事故が懸念される箇所においては、信号機・道路反射鏡・標識・注意喚起の標示などの交通安全施設の充実を図ります。

道の駅（しらやまさん、瀬女、一向一揆の里、めぐみ白山）は地域振興や観光情報の発信拠点であるとともに、道路利用者の休息場所や災害時の防災拠点として活用できることから、今後も休憩施設としての機能維持や、地域住民のニーズに沿った活用を展開していきます。

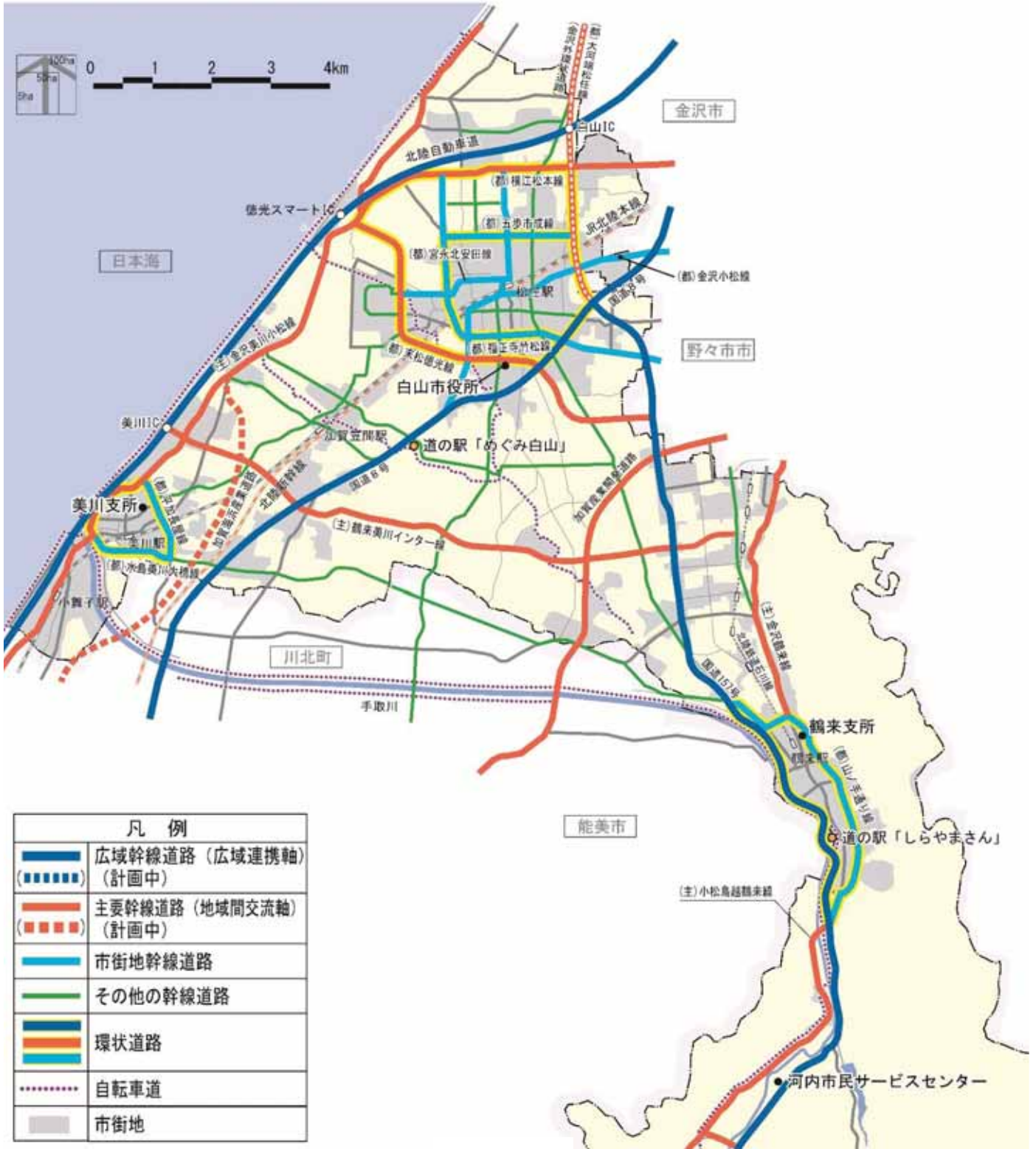
特に「めぐみ白山」では、地域活性化の交流拠点として、本市の観光情報の発信や、白山ブランドをはじめとした地場製品の販売とともに、他の道の駅でも授乳室や子ども用のトイレ施設など、子育て世帯の利便性向上への取り組みを積極的に展開します。



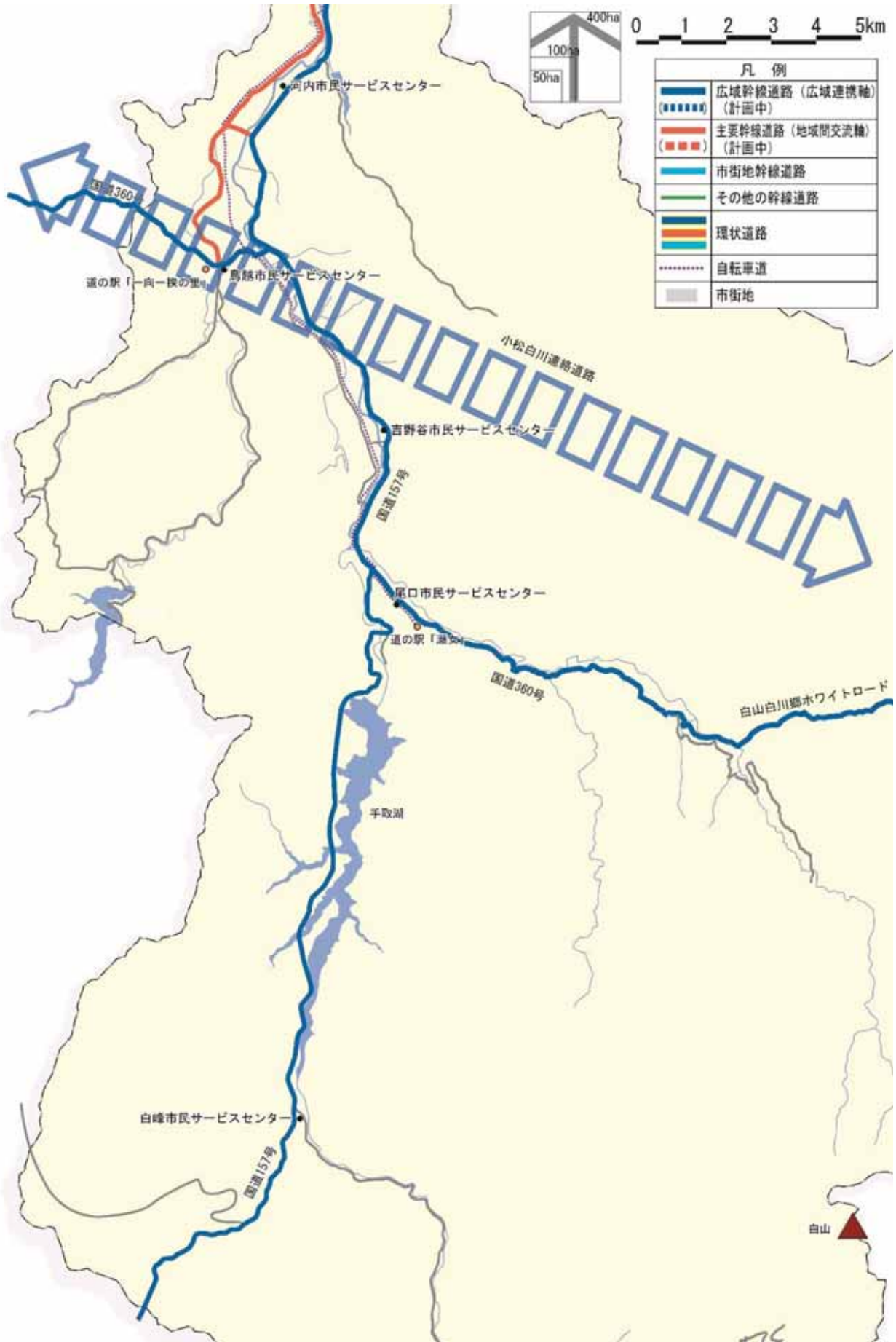
道の駅めぐみ白山

全体構想
松任中央
松任西南部
松任北西部
松任北部
松任南部
美川
鶴来南部
鶴来北部
白山ろく

【将来道路ネットワーク図（平野部）】



【将来道路ネットワーク図（白山ろく）】



全体構想

松任中央

松任西南部

松任北西部

松任北部

松任南部

美川

鶴来南部

鶴来北部

白山ろく

(3) 公園・緑地

(3)-1 基本的な考え方

公園・緑地などの緑のオープンスペースは、日常的な憩いや遊びの場として、また、地域住民の活動の場としてだけでなく、災害時における避難場所としても活用することができます。

また、比較的規模の大きい公園やレクリエーションの拠点となる公園などは、白山市の観光拠点としても重要です。

このため、市内の公園は、幅広い利用者を想定したユニバーサルデザインに配慮しながら、利用ニーズに即した施設の充実を図ります。

なお、公園や緑地の具体的な方針については、「白山市緑の基本計画」に基づき推進します。

(3)-2 地区に密着した公園（街区公園、近隣公園）

子どもや高齢者の憩いの場となる、街区単位で配置する小規模な公園（0.25ha程度：街区公園）は、地区住民のもっとも身近な憩いの場であり、子どもが年齢に応じて遊べる遊具を備えるとともに、保護者や高齢者が憩い、利用できる施設の配置に努めます。

千代野中央公園・小舞子公園・十八河原公園などの、地区内の中規模な公園（2ha程度：近隣公園）は、近隣に居住する住民の地域活動や休憩スペースを有する公園として、施設の充実を検討します。

その他、公園面積の充実を図る必要がある地域についても、地域活動や避難場所としての利用や休憩スペースを考慮した公園として、中規模な公園整備を検討します。

(3)-3 地域の中心に配置する公園（地区公園）

若宮公園のような、市街地や住宅地の中心に配置される公園（4ha程度：地区公園）は、地域の中心に配置され、徒歩圏内で利用できる大規模な公園として、公園植栽の維持管理や施設の維持・充実に努めます。

土地区画整理事業などの市街地開発事業を行う地域においては、公園の適正な配置により、潤いや緑あふれる場の創出に努めます。

(3)-4 広域的な交流の拠点となる公園

松任総合運動公園・松任グリーンパーク・白山郷公園などの大規模な公園については、様々なイベントやスポーツ、レクリエーション活動が行える総合的な公園として、施設の充実に努めるとともに、広域的な交流の拠点として活用します。また、松任海浜公園や手取公園についても、施設の充実を図ります。



白山ろくテーマパーク河合・下野園地

(3)-5 白山の特色をいかした観光などの拠点となる公園

①レクリエーションの拠点となる公園やその他の施設

スキー場や獅子吼高原は観光・スポーツ・レクリエーションの拠点として、利用者のニーズに対応した施設の整備・充実を図ります。

白山ろくテーマパークは、手取川中流域の特徴的な地形と豊かな自然の魅力をいかし、白山手取川ジオパークの活動の拠点ともなるようその周辺の施設と合わせ、整備・充実や利活用を図るとともに、未整備区域の早期整備を促進します。



獅子吼高原

②歴史・文化に親しむ公園

ふるさとの歴史を学び、親しむ公園として、国史跡である鳥越城跡、二曲城跡の再整備や、追加指定となった国史跡・東大寺領横江荘遺跡の整備活用を推進します。また、市指定史跡である舟岡山城跡は、国の史跡指定に向けた取り組みを図ります。

松任城址公園は、歴史を後世に継承するJR松任駅南のシンボルとして、周辺環境の変化に合わせた施設の充実に努めます。



鳥越城跡

(3)-6 都市の緑化の促進

①都市緑化

工業地については、工場立地法に基づいた届出制度の活用により、緑化を促進します。住宅地においては、緑化協定に基づく指導と、新たな協定締結により緑化を促進します。

②緑のネットワーク

緑の拠点となる公園を連絡する道路や、人々がにぎわい、回遊する道路においては、街路樹の整備や沿道の緑化に努めます。また、白山市の山・川・海をつなぐ、豊かな自然を満喫できる遊歩道・自転車道などを維持・充実することで、潤いや安らぎのある「緑のネットワーク」の形成に努めます。

(3)-7 その他の施設など

①スポーツ施設

市民の健康増進や交流の場である体育館や陸上競技場、武道館などのスポーツ施設は、施設の長寿命化と計画的な維持管理に努めるとともに、施設の利用促進を図ります。

相木野球場については、近隣の開発に合わせ、代替施設を整備します。

②鉄道関連施設

白山総合車両所等と周辺をだれもが「鉄道技術」に触れられる環境整備に向けて、関係機関と連携して取り組んでいきます。

また、文化的な価値が高くなった旧加賀一の宮駅の利活用や廃線敷のサイクリングロードへの転用といった鉄道関連資産の活用に努めます。



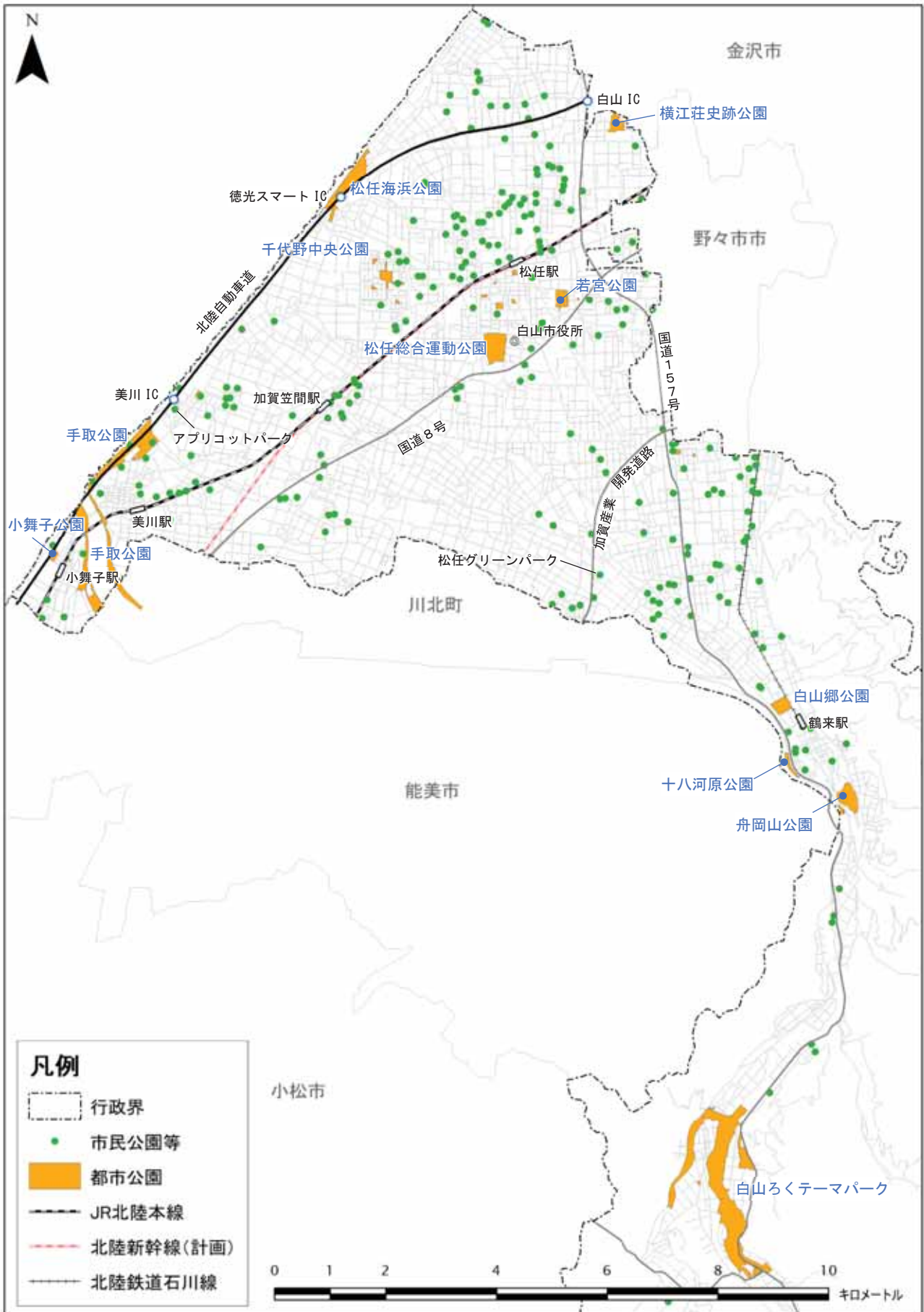
ビジターセンター外観イメージ

③墓地・墓苑

市営墓地公苑については、機能の維持・充実に努めるとともに、世帯数の増加などによる墓地需要に対応するため、市民のニーズに応じて合葬墓や区画の拡張などを検討します。

共同墓地については、地域の実情に合わせ墓地施設の更新を支援します。

【公園の整備状況（計画含む）】



全体構想

松任中央

松任西南部

松任北西部

松任北部

松任南部

美川

鶴来南部

鶴来北部

白山ろく

(4) 供給・処理施設

(4)-1 基本的な考え方

供給・処理施設の中で、水道施設は市民に安定した水を供給し、下水道施設は良好な衛生環境を維持するために、市民生活に欠かせないものとなっています。また、近年の環境意識の高まりのもと、ごみなどの廃棄物処理施設の役割も重要になっています。

白山市では平成23年から「下水道長寿命化計画」を、平成30年に「白山市水道事業ビジョン」を策定し、計画的な管理運営を図ってきています。

今後においては、石川中央都市圏による上下水道の広域的な運営を検討するとともに、ストックマネジメントの考え方のもと、施設の適切な維持管理と効率的な運転を行い、適正な廃棄物処理の実施とともに周辺環境の保全に努めます。

(4)-2 水道

上水道や公営簡易水道の区域は、ライフラインの強化のため、「白山市水道事業ビジョン」に基づき、主要水道施設の耐震化をはじめとする施設の計画的な更新や整備を図るとともに、安全・安心かつ低廉でおいしい水の安定供給に努めます。

表流水や湧水を水源とする白山ろく地域の水道施設については、白山ろく簡易水道施設統合整備事業により、安全で安定した飲料水の供給と、施設の統廃合を進めます。

民営簡易水道などにより生活用水が供給されている区域においては、上水道化の希望がある組合などから順次、給水区域の公営化および統合化を推進します。



(4)-3 下水道

下水道整備については、「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、この計画などに基づき、公共下水道・流域関連公共下水道・特定環境保全公共下水道・農業集落排水処理施設・コミュニティプラント、それぞれの計画的な改築更新を行います。また、下水道整備計画がない区域で、単独処理浄化槽による処理を行っている家屋については、合併処理浄化槽への転換に向けた支援を行います。

今後新たに開発する区域においては、既存の下水道排水区域内での処理を前提としますが、必要に応じ上記の計画を見直し、整備します。

汚泥処理については、共同汚泥処理施設により汚泥を焼却し減量化に努めるとともに、老朽化した、松任衛生センターおよび手取衛生センターの代替施設として、松任中央浄化センターにおいて、下水道広域化推進総合事業によるし尿等受入施設を建設し、し尿および浄化槽汚泥を処理します。また、処理水の有効利用を図ります。

浸水対策として、倉部川排水区や横江地区雨水幹線、平等寺川・御墓谷川排水区などの雨水幹線の整備により、市街地などの雨水排除に努めます。

(4)-4 ごみ処理施設

市民の良好な生活環境を維持し、環境への悪影響を抑止するために、リフューズ（断る：不要なものはもらわない、買わないこと）・リデュース（発生抑制：ごみの量を減らすこと）・リユース（再使用：繰り返し使うこと）・リサイクル（再生利用：再生資源として資源に戻すこと）・ルール（決まり：法令の遵守や排出方法を守ること）を中心とした取り組みを一層強化し、循環型社会の形成を推進します。

中間処理施設に関しては、松任石川環境クリーンセンターの延命化対策が完了したため、施設の適正運営に努めます。

最終処分場として、不燃物の埋立処分を行う「環境の杜^{もり}おがわ」が平成30年度から運用されており、長期的に不燃物の処理が可能であることから、同施設の適正運営に努めます。

民間の中間処理施設およびリサイクル処理施設などについては、許可権者である県と連携しながら、法令に基づいた適正な判断に努めます。



環境の杜おがわ

(4)-5 斎場

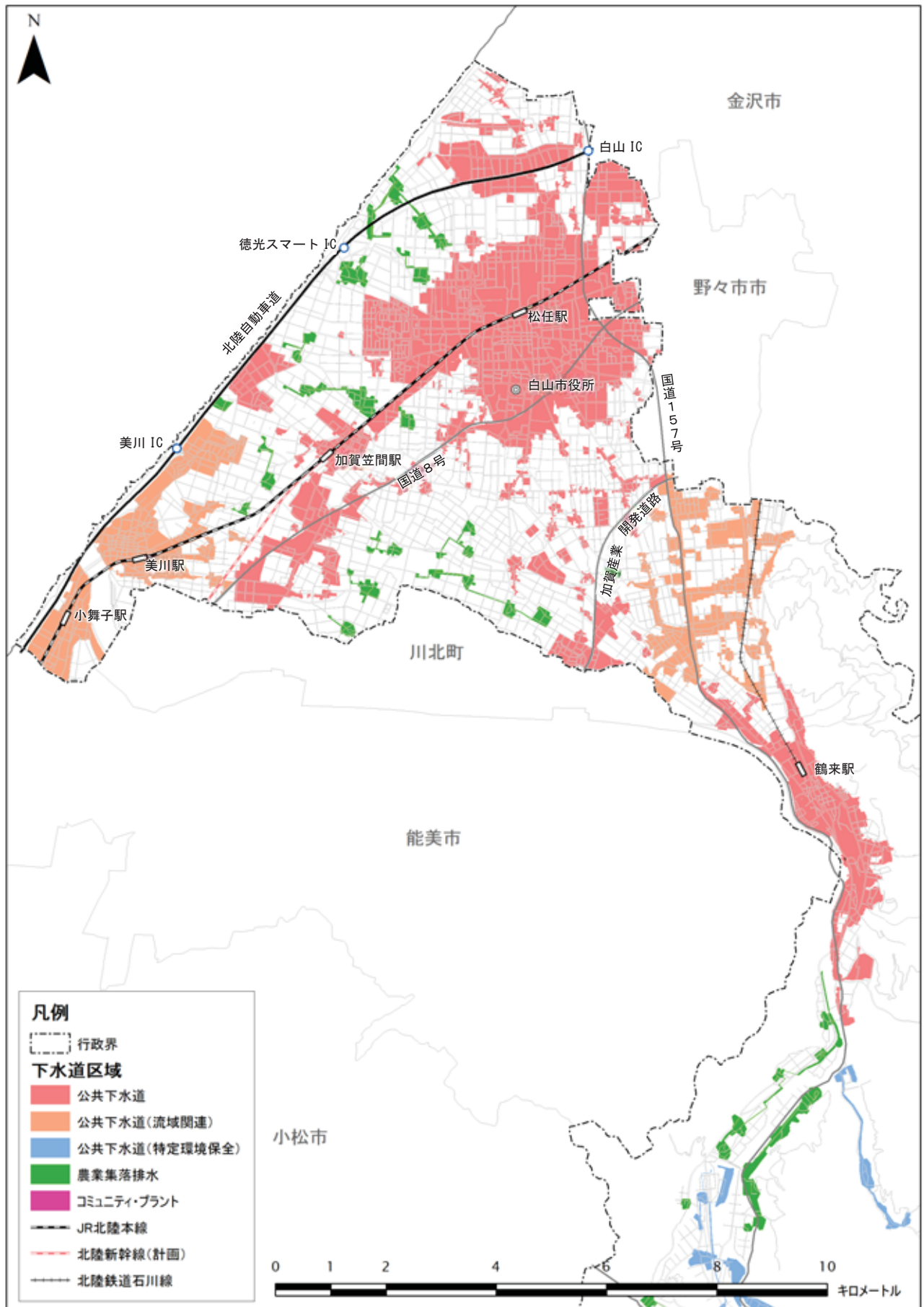
斎場施設は、人生の終^{しゅうえん}焉、最後の別れの間として、なくてはならない施設です。

市民が利用する斎場は、白山市直営の松任斎場、白山市と野々市市の2市による白山野々市広域事務組合が運営する白山郷斎場、白山市と能美市と川北町の2市1町による手取郷広域事務組合が運営する手取郷斎場の3斎場があり、居住地に応じて利用されている状況です。

老朽化が進む松任斎場と白山郷斎場においては、将来ニーズなど長期的な展望に基づき、施設の整備を検討します。

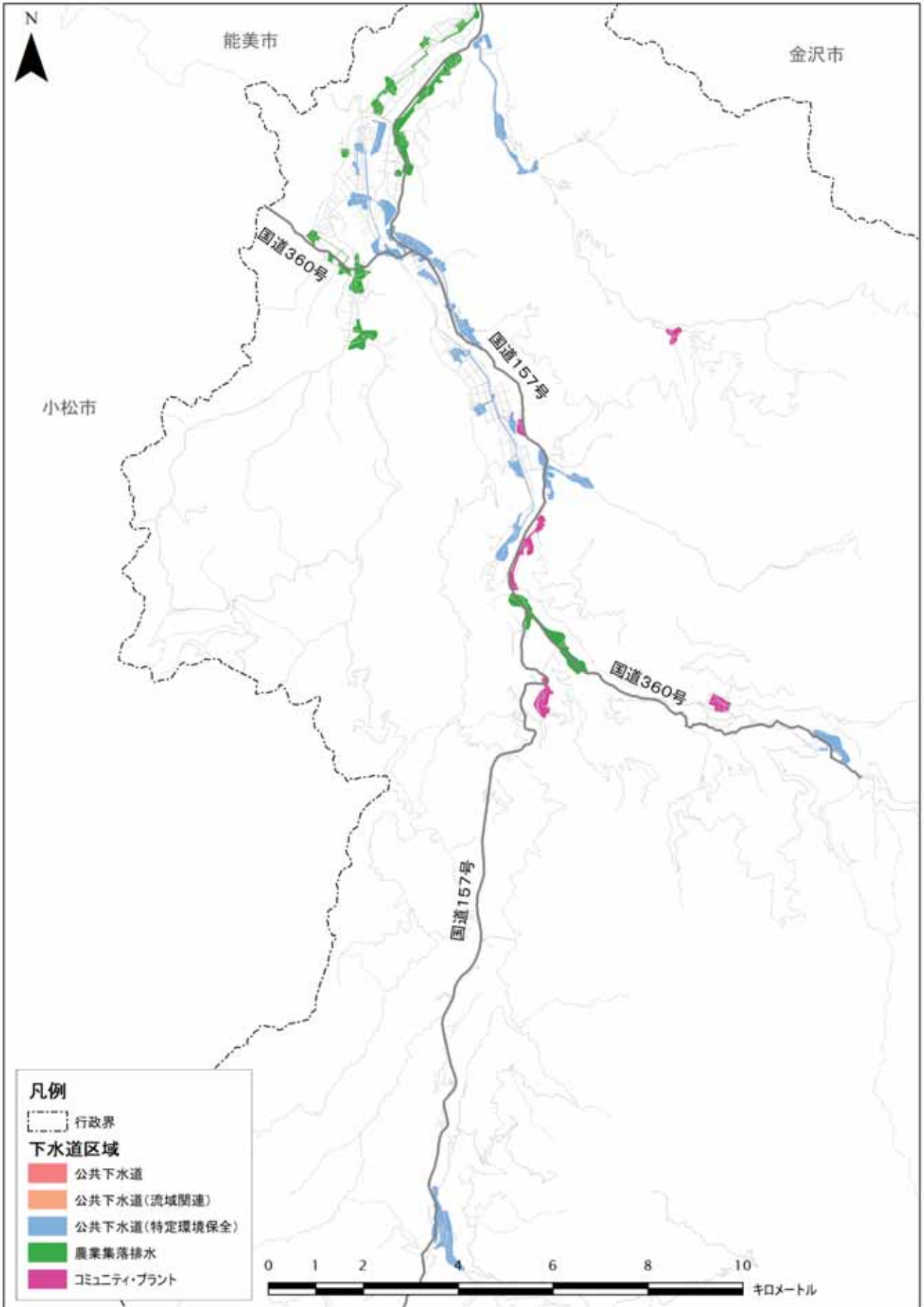
- 全体構想
- 松任中央
- 松任西南部
- 松任北西部
- 松任北部
- 松任南部
- 美川
- 鶴来南部
- 鶴来北部
- 白山ろく

【下水道事業図（平野部）】



※H31.3.31時点での状況

【下水道事業図（白山ろく）】



※H31.3.31時点での状況

(5) 河川・砂防・地すべり・水路・海岸

(5)-1 基本的な考え方

白山市には、一級河川手取川、二級河川倉部川・安原川・高橋川などとともに、手取川七ヶ用水などの農業用排水路があります。これらの河川は豊かな自然を有し、住民の癒しの場となっていますが、一方で、大雨による洪水、河川の氾濫、地形条件などから急傾斜地崩壊危険箇所や、土砂災害警戒区域などに位置付けられた場所での土石流などの自然災害のおそれがあり、近年はさらなる激甚化も懸念されています。

また、日本海に面している白山市では、美しい海岸がレクリエーションの場となっている一方で、津波や高潮など、海からの災害の発生も懸念され、河川や海岸などの環境保全と災害対策が重要となっています。

(5)-2 河川・砂防・地すべり・水路

集中豪雨による水害を防ぎ市民の生命と財産を守るために、手取川、安原川、高橋川、西川、熊田川などのほか、その支川も含めた河川改修の促進、下水道事業による雨水幹線整備および砂防・地すべり対策事業を推進します。一方で、自然環境に配慮した多自然型河川護岸や親水空間の整備とともに、手取川などの土砂浚渫しゅんせつにより、河川環境の維持管理を図ります。

貴重な動植物が生息するための水流および水量を確保するなど、生息地の積極的な保全を図るとともに、貴重な水資源確保のため、特に扇状地エリアにおける伏流水かんようの涵養かんように努めます。



河川環境の維持管理

(5)-3 海岸

海岸においては、市民に潤いと癒しを与える自然空間として、美川海岸の早期整備（なぎさりフレッシュ事業）や飛砂・風害の防備などの機能を有する海岸林の保全・管理を促進します。

また、侵食対策として海岸景観を損なわない人工リーフや海岸線へのアクセスが容易となる緩傾斜堤などについて、整備や適切な維持管理に努めます。



人工リーフ（小舞子海岸）